



第五回FASSフォーラム ジャパン2008

「会計報告新時代への対応」 — 内部統制・四半期開示を超えて —

第五回目となるFASSフォーラム・ジャパンは、七月九日に「会計報告新時代への対応」と題して開催された。四半期開示、内部統制など、会計報告の新しい制度の本格導入に苦慮する経理・財務部門が多い現状を踏まえ、今回は財務会計に関するテーマを採りあげ、シャープ取締役経理本部長の大西徹夫氏、ビジネスブレイン太田昭和会計システム研究所所長の中澤進氏、SAPジャパン代表取締役CFOの井野勢津子氏、ジェネックスアソシエイツ代表取締役の菊永孝彦氏を講師にお迎えした。

内部統制により、グループ会社のプロセスや規程の共通化や標準化が必要とされている中で、国際会計基準という会計基準の共通化、そして



四半期開示と、より一層の決算早期化の体制が求められている。

既にこうした対応を進めている企業では、国際会計基準をベースに連結決算を行った後に日本基準に置き換えるなど、取り組み状況における企業間格差も広がっているように見える。

これまでのように一部経験豊富な経理スタッフの職人技による連結決算というレベルを根本的に見直し、全てのグループ会計情報を一元化する新しい会計報告時代への移行が問われていることを考えさせられる内容であった。

※フォーラムの概要は本誌12〜18ページに掲載。

グローバルM&Aフォーラムのご案内

クロスボーダーのM&Aと成長戦略を考える

日時…一〇月一〇日
場所…パレスホテル

(東京・千代田区)

主催…日本CFO協会
特別協力…英国大使館

グローバル化の加速によるクロスボーダーのM&Aや事業提携、プロセスのアウトソーシングを迫られている大企業のCFOを対象に、金融・資本市場に対する国際金融最先端ロンドンの見方や先行事例を紹介するほか、これからの企業の成長戦略をCFOの立場で考えます。

当日は、日本板硝子の阿部副会長を講師にお迎えし、英国ピルキントン社を買収した日本板硝子の大型M&Aをケースとしてご紹介します。

GLOBAL M&A FORUM



詳しくは
日本CFO協会HP
(www.cfo.jp)を。

経理・財務SS2.0能力評価 制度開発プロジェクト始動

内部統制のニーズに応える 試験制度を試行

日本CFO協会、NTTビジネスアソシエ、プロティビティ・ジャパンの三社は、内部統制強化の要請に応えることを目的に経理・財務サービス・スキルスタンダードにリスクとコントロールの概念を加えた「経理・財務サービス・スキルスタンダード2.0」の策定を経済産業省より受託し、昨年度に完成させた。

今年も引き続き、「経理・財務サービス・スキルスタンダード2.0」に対応する試験制度の開発を目的として「経理・財務SS2.0能力評価制度開発プロジェクト」を経済産業省より受託。約四〇社の経理・財務幹部、内部統制部門の幹部がプロジェクトに参画し、今年度内に当該分野の能力評価制度の実証実験を行う。このプロジェクトの成果は来年三月に公開する予定だ。

【お問合わせ】

日本CFO協会事務局
03.3555.6233 4